

物流の円滑化・効率化を考慮した建築物の設計・運用に関する調査・検討業務

【建物・施設】

1. 客用駐車場と納品口の分離

・顧客車両と納品車両が、繁華街の大通りに面した同じ入口から入庫するため、待ち時間の発生による非効率が起きている。(写真1)



写真 1

2. 店舗面積とバース数のバランス

・店舗面積とバース数のバランスが悪いため、店舗裏のパーキングメーターを、バース代わりに使用する場合もあり。

・バース満車時の車両待機場所の確保が必要。

3. バースの機能

・床面から95cmのプラットが望ましい。
 ・プラットからシャッターの長さは最低4m必要。
 ・小型貨物(3.5トン～4トン)での搬入が多いため、3.5m程度の高さが必要(古くからの百貨店では、建物の高さがなく2トン車が限界のところもあり)。

4. 商品搬入ルートと社員通用口の分離

・商品搬入ルートと、社員の通用口が同一のため、危険が生じている。(写真2)



写真 2

5. ユニバーサルデザイン(段差の解消)

・商品を積んだ台車の通行を安全かつ効率的に行うために、館内動線の段差解消が必要。

【運 用】

1. 納品車両のダイヤグラムが重要

・大型店舗では1日当たり納品車両が600台～700台あるため、納品車両のダイヤグラム作成が重要となる。

2. 車両の集約

・現在は、路線便・納品代行・メーカーからの直納便が混在しているため、直納便から納品代行へのシフト。または路線便の絞り込みが重要。

3. 店内倉庫の容量と店内搬入動線の関係

- ・店内倉庫は売場の30%が理想。
- ・既存建物は、フロア倉庫が建物の一部に偏っているため、売場への商品搬送時に店内を台車で通行する必要があるため、危険が生じている。
- ・最近の建物はフロア倉庫を、建物の外周にあわせ設置しているため、売場に一番近い出口から商品を運搬することで、効率性と安全を確保している。

4. 館内配送チームの設置

・バスから館内の配送を、縦持ちの専用チームによって行っているため、バスでの荷卸し時間は約5分から10分程度で済ませている。

5. スマート納品

・店舗別に郵便番号の申請を行い、納品業者のセンターでフロア別に商品仕分けを行うことで効率化を図っている。

以 上